



<https://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

令和7年10月



「親子で稲刈り体験」に参加した皆さん(本誌10ページで紹介)

## ■今号16ページ 主な内容

- 「阿蘇コシヒカリ」初検査・出発式
- 農業団体が阿蘇地域の世界農業遺産を応援
- JA阿蘇女性部全体研修会／第50回JA阿蘇青壮年部大会
- 『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント! etc.

今号も話題と情報を満載!!

Instagram



ホームページ



2025  
秋

VOL. 143



## ● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

## 過去最高金額「特別栽培米 阿蘇コシヒカリ」概算金33,240円 集荷量16.1万俵を目指す



写真左＝阿蘇市給食センターへ新米の寄贈 写真右＝関係者による出発式テープカット

**阿蘇コシヒカリ初検査・出発式  
概算金上げ幅とも過去最高**

J A阿蘇は9月9日「阿蘇コシヒカリ」の初検査と出発式を行い、2025年産米の概算金を発表しました。

農家を取り巻く厳しい状況を受け、特別栽培米コシヒカリ1等米60kg当たりを前年より1万1220円増の3万

3240円（税込）と決定。概算金、上げ幅とも過去最高となりました。

J A阿蘇では7月、初めて開いた米集荷推進大会で概算金目標額を3万240円と提示。全国的にも早い段階に公表したことで、概算金ベースの礎を築きました。民間事業者との集荷競争が激しくなる中、さらに取引業者との価格交渉を進め、今回の概算金額を決定しました。

25年産は高温対策として研修会や現地検討会を開き、高温による収量減少や品質低下対策に取り組みました。

初検査では10軒の生産者から持ち込まれた約42tの阿蘇コシヒカリ（特別栽培米）から、サンプルを抜き取って検査を行い新米の形や色つや、水分量や粒の張り具合を確認。全量が最高品質の1等米となりました。



初検査で式辞を述べる原山寅雄組合長

出発式では、関係者によるテープカットの他、阿蘇市給食センターへの新米贈呈、新米のおにぎりを参加者に振る舞いました。

原山寅雄組合長は「米の生産は日本農業の基盤だ。農家の営農と暮らしを守る責任がある。再生産可能な金額を設定したことで、農家所得の増大に繋がると嬉しい」と話していました。



初検査で全量が最高品質の1等米となった「阿蘇コシヒカリ」

**「野菜の日」阿蘇夏秋野菜をPR  
生しいたけ、ひごむらさきなど販売**



J A阿蘇は8月30日、熊本市中央区のびぶれす広場で開かれた特卖会に参加しました。この特卖会は8月31日の「野菜の日」に合わせて行われる恒例のイベントで、熊本県産の夏秋野菜PRと販売促進が目的です。会場には熊本県産の夏秋野菜12品目が並び、多くの人が来場しました。

J A阿蘇は、小国郷地区特産の生しいたけや高森地区特産のひごむらさきなどを販売しました。

担当した河津勝職員は「J A阿蘇管内で生産されている夏秋野菜のPRができた。今後も阿蘇の誇る特産物の美味しさを発信していきたい」と抱負を語っていました。（写真右＝「びぶれす広場」特卖会の様子）



県内の3農業関係団体  
「熊本経済連・熊本果実連・らくのうマザーズ」  
阿蘇地域世界農業遺産応援の寄付金贈呈



JA熊本経済連・JA熊本果実連・らくのうマザーズの県内3農業関係団体が8月18日、阿蘇地域世界農業遺産推進協会の原山寅雄会長（JA阿蘇組合長）に寄付金を贈呈しました。

阿蘇地域は世界農業遺産認定から12周年を迎えました。同協会は農畜産物の販促活動や収穫感謝祭を実施し、阿蘇が世界農業遺産であることを国内外へPRしています。また平成26年からは「阿蘇世界農業遺産基金」を創設。世界農業遺産応援のための寄付金を募ってきました。

原山会長は「多くの方のご厚意に感謝を申し上げます。草原と阿蘇地域の農業を守り後世に繋げるため、一層の取り組みを推進していきたい」と、謝意を述べていました。集まった寄付金は、阿蘇地域の活性化や阿蘇地域で生産される農畜産物等の付加価値向上に向けた取り組みに活用されます。

写真右側 県内3農業関係団体役員の方々と原山会長

横浜市のスーパー2店舗で  
阿蘇産の新鮮野菜5品目を販売！  
阿蘇農業遺産のPRと産地の魅力も伝える



JA阿蘇は7月26・27日、横浜市のスーパー三和の港北店とトレッサ横浜店で販売促進イベントを実施しました。両店の店頭には、阿蘇で採れた旬のトマトやアスパラガスをはじめ新鮮な野菜5品目が並び、阿蘇産の野菜を使った料理の紹介や、みずみずしいミニトマトの試食会も行われ、阿蘇農業遺産のPRも兼ねて産地の魅力を伝えました。

JA阿蘇では、重点実施事項として①安全・安心な農産物の生産拡大と農家所得の安定化②販売力強化による安定供給体制の構築の2項目を掲げ、農畜産物の消費拡大に取り組んでいます。販促イベントを担当した河津勝職員は「東京シティ青果と協力し、大都市圏での認知度向上と販路拡大を更に図っていききたい」と意気込みを語っていました。

JA阿蘇では、今後も継続的に販売促進活動を展開し、農畜産物の消費拡大に努める方針です。

写真右側 スーパーで行われた販売促進活動の様子

JA阿蘇農産物 販路拡大へ  
you+youくまもと農畜産物市場と  
小国郷朝どり市がタッグ！



6月からyou+youくまもと農畜産物市場とJA阿蘇小国郷朝どり市がタッグを組み、you+youくまもと農畜産物市場で小国郷で採れた新鮮野菜の販売を始めました。

同市場は今年で25年目を迎え、1日の平均客数は約1500人、売り上げは平均で408万円。午前中に品薄になることが多く、同市場から「商品在庫の確保が課題」とJA阿蘇が相談を受けていました。JA阿蘇にとっても販路拡大・販売促進に繋がり、相互に利益獲得となることから小国郷朝どり市とのタッグが実現しました。

同市場の松岡店長は「特にトマトやナス、葉物野菜の人气が高い。JA阿蘇と協力し販売活動の拡大に尽力したい」とタッグ販売に期待を込めています。

販売日は火・木・土曜の週3回で11月まで行われる予定です。写真右側 小国郷朝どり市の新鮮野菜



### ミカンコミバエやトマトキバガなど 関係機関が連携 侵入警戒病害虫対策を強化



熊本県野菜振興協会阿蘇支部技術部会は7月15日、阿蘇市で侵入警戒病害虫対策についての意見交換会を開催しました。同部会は、地域振興局・各市町村・JA阿蘇営農指導員で構成され、今回の会議では、侵入警戒病害虫への対応策が主要議題となりました。阿蘇地域振興局農業普及・振興課より、ミカンコミバエやトマトキバガといった侵入警戒病害虫を発見した場合の具体的な対応方法等について改めて周知されました。特にトマトキバガは5月30日に熊本県病害防除所より病害虫発生予察注意報が発表され、すでに県内複数地域の圃場で発生が確認されている現状を共有しました。

これらの病害虫対策について薬剤抵抗性の発達を防ぐため、異なる薬剤のローテーション散布や適切な薬剤使用について、JAと関係機関の連携による指導の重要性を再確認しました。(写真Ⅱ侵入警戒病害虫への対策が主要議題となった会議の様子)

### 福岡大同青果「ベジフル感謝祭」で 阿蘇の夏秋野菜をPR 「販売・試食ともに好評！」



JA阿蘇は7・8・9月の第3土曜日に、福岡市の福岡大同青果で開催された「ベジフル感謝祭」に参加しました。

感謝祭では、阿蘇の特産物であるトマトやキュウリ、ホウレンソウなどの販売やアスパラご飯や肉みそ野菜ディップ、夏野菜の塩昆布和えの試食会が行われ、賑わいを見せました。

JA阿蘇では2025年度の販売目標(野菜・果菜・花卉果樹)金額を68億円と掲げています。担当した河津勝職員は「販売・試食ともに好評で、消費者に阿蘇の夏秋野菜や世界農業遺産のPRが出来た。今後も様々なイベントに参加し、農産物のおいしさを発信していきたい」と話していました。

(写真Ⅱ多くの来場者があつたベジフル感謝祭の様子)



### 送電線に防雀テープやビニール等が飛来し停電が発生します

- 風で飛ばないようにしっかりと固定してください
- 感電の危険性があります
- 電線に絡まった防雀テープやビニール等には近づかず九電ハイテックにご連絡ください



防雀テープ



農用ビニール



事故防止のお願い  
(YouTube)

【連絡先】 (株)九電ハイテック熊本支社送電グループ TEL 096-386-2259



成型駒の部最優秀賞に渋谷甲二さん  
JA阿蘇小国郷生いたけ部会  
「ホダ木コンクール」



J A阿蘇小国郷生いたけ部会は9月10日、ホダ木コンクールを開催しました。今年接種した原木を11戸の生産者が合計25本持ち寄り、「成型駒の部」と「棒駒の部」の2部門で審査しました。

コンクールでは、原木の菌糸の状態を検査して、菌糸の伸び具合を内部・表面・木口で点数を付け、各10点満点で評価を行います。生産者が各自で駒打ちした原木を長さ20cm程度に切つてから縦半分に分けて、皮を剥ぎ審査をしました。菌糸が伸びているほど原木の状態が良く、来年の発生が期待さ

令和7年度JA営農指導実践県大会  
木下翔太職員が優秀賞受賞



れます。

審査は森産業(株)熊本出張所の七條真司さんが務めました。

七條さんは「他産地同様、春先から梅雨の雨不足で種駒の初期活着と蔓延遅れが見られていたが、今後の管理を徹底し蔓延の遅れを取り戻してほしい。今後は適期作業を行い、異常気象に負けないホダ木を作ってほしい」と講評しました。

成型の部で最優秀賞を受賞した渋谷甲二さんは「来年も賞が取れるように適期に駒打ちをして、栽培管理に努めたい」と笑顔で話していました。

指導担当の木下翔太職員は「今後の栽培管理を見直しながら、計画的に駒打ちを行ってほしい」と話していました。(写真上||ホダ木コンクールの様子)

8月5日に開催された「令和7年度JA営農指導実践熊本県大会」で、小国郷営農センター園芸課の木下翔太職員が優秀賞を受賞しました。

同大会では県内8JAの営農指導員が、農家所得の増大に向けた技術指導や産地振興に繋がる活動事例を発表しました。

木下職員は「小国郷ほうれん草部会」産地維持に向けた取り組み」というテーマで、病害虫多発に伴う品種転換の事例や農業者の高齢化・担い手不足の減少から生じる耕作放棄地の中古ハウスの活用方法を発表しました。

木下職員は「今後も高冷地ハウレンソウの産地維持ができるように、部会員とともに頑張っていきたい」と受賞の喜びを語っていました。(写真右||活動事例を発表する木下職員)

農業用廃棄プラスチックを回収  
約60tの廃プラ持ち込まれる

J A阿蘇中部管内では8月、不要となつた農業用廃棄資材の回収を阿蘇市の中部野菜センター敷地内で行いました。今回4日間で、農PO・畜産ラップ・灌水チューブ・肥料袋・田植箱など、約60tの農業用廃棄プラスチックが持ち込まれました。

これらのプラスチック類は産業廃



写真||荷降ろしをするJA職員

棄物である為、野焼きなどの焼却や不法投棄することは法律で禁止されており、適正な処分が求められています。JA阿蘇では、農業用廃プラスチックの焼却処分や不法投棄がないよう一斉処理日を定め、組合員への周知や各購買店舗にポスターを張り出すなどして回収を呼びかけました。回収日には、JA職員が持ち込まれた廃棄物の計量や荷下ろし、分別作業などを行いました。回収された廃棄物類は委託業者により再生処理加工され、大部分は生活用品等へ再利用されます。持ち込んだ農家は「資材価格の高騰で新規購入が厳しい状況にあり、なるべく資材の使い回しをしなければならぬ」と話していました。中部管内の次回回収は来年2月中旬頃を予定しています。

## 生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報①

生産力・販売力強化に取り組み  
販売金額7億9900万円  
JA阿蘇いちご部会総会

JA阿蘇いちご部会総会



JA阿蘇いちご部会「JA表彰の部」「部会表彰の部」で表彰された方々

JA阿蘇いちご部会は8月6日、行政・部会員・JA役職員ら約60名が出席し、一の宮中央支所で令和6年度いちご部会の総会を開きました。

総会では新規部会員の加入承認、事業収支報告、事業計画など10議案が審議され承認されました。

役員改選では新部会長に園田賢臣さん、副部会長に岩下岩雄さんが就任。

JA阿蘇西原甘諸部会総会  
栽培管理徹底と安定出荷に努める

JA阿蘇西原甘諸部会は8月7日、部会員やJA・行政・市場関係者ら約80人が参加して2024年度総会を開き、実績報告や今後の事業計画について話し合いました。24年産は夏場の高温による空洞症や収穫時の

部会員は本総会で加入が承認された新規部会員2名を合わせ37名となりました。同部会では生産力・販売力強化に重点的に取り組み、24年産は販売数量490t（前年比98%）、販売金額7億9900万円（同102%）、平均単価1628円（同104%）となりました。

当日は表彰式も行われ「JA表彰の部」で総販売金額の功績を称え5名、「部会表彰の部」で単位面積当たり販売金額800万円以上の功績を称え8名へ、表彰状の授与と賛辞が贈られました。表彰者は以下のとおり（敬称略）。

◇JA表彰の部  
▽総販売受賞者Ⅱ 大津裕樹・佐藤哲治・園田賢臣・嶋野武輝・井野大志郎  
◇部会表彰の部

▽単位面積当たり金額Ⅱ 嶋野武輝・志賀謙三・西田満士・大津裕樹・嶋田陽一・岩下岩雄・小野龍臣・井野大志郎



秋雨で軟腐病が発生。販売数量1636t（前年比91・7%）、販売金額5億3500万円（同87・8%）となりました。

また、今年度から高温対策として主に非生物学的ストレスを緩和するバイオステイミュラント資材の活用や、マルチの種類の変更などを実施し、空洞症の低減に努める計画です。

東厚部会長は「高温対策が非常に重要であり、栽培管理を徹底し品質向上・安定出荷に努めたい」と話していました。（写真右Ⅱ甘諸部会総会の様子）



今年産販売数量1770t  
5億5000万円目指す

西原甘諸部会では2025年産の出荷が9月10日から始まりました。

初出荷では甘さが濃厚でしっかりとした品種「シルクスイート」約2000ケース（1ケース5kg）が持ち込まれました。現在、部会員59名で作付面積は80ha、主に県内や関西、東海地方へ出荷を行っています。担当の鞭馬直輝職員は「8月後半から適度な降雨があり、順調な生育に繋がりが今年も収量に期待をしている」と話していました。

出荷は9月から翌年6月まで行われます。  
※写真右Ⅱ初出荷の前に生育状況の確認／写真上Ⅱ出荷されるシルクスイート

## 生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報②

前年比188%の約15tを岐阜・地元熊本へ出荷

JA阿蘇西原栗部会



JA阿蘇西原栗部会では、8月下旬より2025年産の出荷が始まりました。昨年は全国的に出荷量が少なかったが、西原地区も例外ではなく前年比50%の出荷量でした。今年度は2月下旬から4月にかけて低温が続きましたが、収穫が始まる時期には着数も多く、昨年より多い出荷量約15t（前年比188%）の出荷量を見込んでいます。出荷先は岐阜と地元熊本となっています。

同部会では約30名の生産者が出荷を行い、毎年出荷査定会を開き、出荷・収穫時の注意点や出荷規格の統一に努めています。担当職員は「より良い品質のものをより多く出荷するために、涼しい時間帯での収穫、選果基準の徹底に取り組みたい」と話していました。写真右＝栗選果の様子

販売金額1億3000万円目標  
目慣らし会・現地検討会開く  
＝JA阿蘇ミニトマト部会＝



JA阿蘇ミニトマト部会は8月29日、栽培後半に向けた目慣らし会・現地検討会を開きました。

目慣らし会では、着色基準の確認や規格を再確認しました。現地検討会では、JA阿蘇指導員や種苗会社より後半の管理について説明が行われました。

今年度、同部会は部会員24戸で作付面積360a、販売数量195t、販売金額1億3000万円を目標に掲げています。白石忠幸部会長は「農業を取り巻く環境は厳しく、異常気象や世界情勢が激動している中、当部会でも高齢化や担い手不足といった問題が起きているが、しっかりとした生産販売計画を立て、生産力の維持拡大、販売力の強化に取り組んでいる。今後も引き続き、良質なミニトマトを安定的に供給できるよう部会員一同努力していく」と語り、販売担当の石田澄恵職員も「資材高騰など生産環境の厳しい情勢が続く中で、後半も目標達成に向けて市場とも密に情報交換を行い、有利販売につなげていきたい」と抱負を述べました。写真右＝現地検討会の様子

販売金額8億6000万円を目標に掲げる

JA阿蘇いちご部会



イチゴ定植作業の様子

JA阿蘇管内では、県内で最も早く2025年産イチゴの定植が始まりました。恋のりを112・8aで高設栽培しているJA阿蘇いちご部会の園田賢臣部会長は、家族と外国人技能実習生8人で、迅速かつ丁寧にイチゴ苗を定植していました。

園田さんは「厳しい残暑はあったが、自然災害による大きな影響もなく、例年通りの定植時期となった。管理を徹底して高品質なイチゴを消費者に届けたい」と話していました。同部会は部会員36戸、作付面積1161a、出荷量210万パック、販売金額8億6000万円を目標に掲げています。

江藤秀晃指導員は「スケジュールおりの育苗管理ができ、例年通りの苗の仕上がりとなっている。高温の影響で病害虫の発生や定植の遅れが懸念されたが、9月に入り花芽分化も進み9月5日より定植を開始。まずは年内収量確保に向け、生育ステージごとの栽培指導を徹底していく」と意気込みを語っていました。出荷は主に関東・関西市場を重点に11月上旬を予定。輸出にも力を入れる計画です。



**第50回JA阿蘇青壮年部大会**  
**「盟友の主張最優秀賞」丹生幸宏さん**  
**「組織活動実績最優秀賞」一の宮支部**



第50回JA阿蘇青壮年部大会が8月5日開かれ、青壮年部盟友や関係者ら34名が参加しました。

開催にあたり、高本祐史部長が「国民が食料生産へ目を向けており、水稲経営においては暗黒の時代に一寸の光が差ってきている。今が農業の転換期だ」と力強く式辞を述べ、原山寅雄組合長は「組合員がJAに目を向けてくれている。農家所得の

**「もしもの時こそ落ち着いた行動を」**  
**JA阿蘇女性部「全体研修会」**

JA阿蘇女性部は7月24日、女性部員やJA関係者ら約60名が参加して女性部全体研修会を開きました。

研修会では熊本県知事公室危機管理防災課の川本収三さんが「自助」「共助」による防災の取り組み」と題して講演。「近年の気候変動により

増大のために、青壮年部活動と共に農業経営を充実してもらいたい」と青壮年部員に熱いメッセージを送りました。

大会では盟友の主張発表、組織活動実績発表が行われました。

盟友の主張では「安全で美味しい農産物作りとスイゼンジノリの養殖」を発表した西原支部の丹生幸宏さんが、組織活動実績発表においては「次の世代へ繋ぐ青壮年部活動について」を発表した一の宮支部が、それぞれ最優秀賞に輝きました。丹生さんと一の宮支部は10月24日開催のJA熊本県青壮年部大会に阿蘇代表として出場します。

また当日は、別府大学国際経営学部森宗一氏が「JA青壮年部の展開について」経営理念と負けない農業経営」と題し基調講演を行いました。

写真上||青壮年部員とJA役職員

災害の激甚化・頻発化が発生している。いどこで起きるか分からない災害から身を守るためにも、事前準備や訓練が必要だ」と述べ、災害に備え「命をつなぐ災害食レシピ」の紹介や非常時に持ち出すべき物の確認などをしました。

研修会に参加した女性部員は「もしもの時こそ落ち着いた行動が重要。事前準備やハザードマップ等の確認を行い、災害時における不安を減らしたい」と感想を語っていました。また、JA熊本経済連による「JAでんき」の勉強会も行われました。



写真右||研修の様子

**阿蘇の恵みで「THE農家メシ」**



JA阿蘇女性部員の阿南喜和子さんと女性部担当の南部宮農センター瀬井真美職員は「夏野菜の酢漬けて猛暑を乗り切る。調理時間は漬け時間含め約30分。暑く忙しい時期、時短でおいしいもののメニューを考案しました。

**【材料】**収穫したてのキュウリとトマト、エコープ商品のらっきょう酢を使います。酸味は食欲増進や疲労回復、熱中症対策に期待ができ、夏ばて防止に最適。  
**【作り方】**薄く切ったタマネギを水にさらす間にキュウリとトマトと大葉を細かく切る。らっきょう酢を野菜が半分漬かる程度にかけて漬けるだけ。ごま油としょうゆ、ニンニクを加えると中華風になり、おつまみとしても楽しめます。

瀬井職員は「手間をかけず、おいしく作る阿南さんの料理は女性部員の間でも大好評。簡単でまねしやすい。ぜひ多くの方に作ってほしい」と笑顔で話していました。



### JA阿蘇青色申告会通常総会 令和7年度事業計画など可決



JA阿蘇青色申告会は6月30日、サンクラウン大阿蘇で令和6年度青色申告会通常総会を開き、令和6年度事業報告や令和7年度事業計画などの議案を可決しました。

永野秀幸会長は冒頭の挨拶で「インボイス制度導入以降、会員の不安が増している。今後もJAや税務署と協力し、正確な帳簿記帳に取り組んでいきたい」と抱負を述べました。

同会は小国郷地域・南阿蘇地域・中部地域合わせて会員96名で、会員向けに㈱ソリマチ担当者による学習会や税理士を招いての記帳サポート

### 「夏の農機・自動車展示会」 中部と南部地区の2会場で開催



などを行っています。

青色申告担当の谷口実優職員は「今後も税理士による指導や相談会を開き、税務申告等の不安解消に努めていきたい」と話していました。

総会後、阿蘇税務署の荒井嘉規氏による「令和7年度税制改正による所得控除の見直し」と題した講義が行われました。（写真上＝総会で挨拶を述べる永野秀幸会長）

JA阿蘇は「夏の農機・自動車展示会」を中部地区（7月3・4日）と南部地区（7月10・11日）の2会場で開催しました。

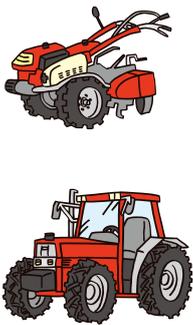
同展示会は、農業人口の減少や高齢化が進む中、地域に密着したサービスの提供を目的とした提案型展示会として開かれ、関連業者22社が参加しました。

JA阿蘇では会場の一角に資金相談の臨時窓口を設けるなど、各部門が連携して組合員を支援する体制を整備しました。

来場者からは「職員やメーカー担当者による説明が分かりやすく、買い替えや新規導入を検討するいい機会となった」などと好評を得ました。

会期中、来場者は415人、売上金額は約900万円の実績となりました。また7月25・26日に、益城町のグランメッセ熊本で開かれた第61回農機自動車大展示会にも参加しました。

（写真上＝展示会開会式でのJA阿蘇職員および出展業者スタッフによる「頑張るっ三唱！」）



### JA阿蘇「高校生のための企業説明会in阿蘇2025」に参加

JA阿蘇は7月3日に行われた「高校生のための企業説明会in阿蘇2025」に参加しました。

同説明会は、高校新規卒業予定者と求人企業の情報交換の場を設けることで、相互の理解を促し、若年労働力の地元定着を促進することを目的で開催されました。会場にはJA阿蘇を含む地元企業28社がブースを設け、説明会には教諭および生徒約90名が参加しました。

説明を行った西村恭兵職員は「JA阿蘇に興味を持って受検して頂き、一緒にJA阿蘇を盛り上げていきたい」と期待を寄せていました。



ブースでJA阿蘇の説明をする西村職員

## 阿蘇コシヒカリを収穫！親子で稲刈り体験 ランチはカレーとバーベキュー

J A阿蘇は9月13日、管内の小学生親子を対象とした稲刈り体験を阿蘇市で行いました。当日は24世帯65名が参加し、特別栽培米阿蘇コシヒカリの収穫作業に



汗を流しました。

児童らはJ A職員やJ A阿蘇青壮年部から稲刈り鎌の使い方や注意事項を聞き、一株一株丁寧に収穫しました。

参加した児童らは「鎌で切るときの音が気持ちいい」「手で収穫するのはとても疲れる」などと、息を切らしながら感想を

話していました。保護者からは「子供から率先して稲刈りに参加したいと言ってきた。なかなか触れることが少ない農業体験に、このイベントを通して参加できて子供が嬉しがっている」との感想も聞かれました。

収穫後、昼食にはJ A阿蘇女性部による新米の阿蘇コシヒカリを使ったカレーやあか牛の焼肉などが振る舞われ、昼食の会場は笑顔に包まれました。また女性部からは「食農クイズ」が書かれたお土産もプレゼントされ、児童らを喜ばせていました。

J A阿蘇の園田真治職員は「米の価格が高騰している中で、イベントを通して少しでも生産者の立場を体験してもらい、農産物の大切さを実感してほしい」と話していました。今回収穫した新米は後日、参加者各世帯に2kg贈られる予定です。(写真上=稲刈りをする参加児童/写真右=女性部と青壮年部によるバーベキュー、お土産プレゼントの様子)



## 地元中学生が農業体験学習

### アスパラガス選果、トマトの出荷作業を体験



J A阿蘇は9月上旬、阿蘇中学生10名と一の宮中学生12名を農業体験学習として受け入れました。この試みは、両校の総合的学習の一環で「勤労の喜びや厳しさを学び、自分の労働観を深めること、ふるさとへの誇りを強く持つこと」を目的に取り組まれています。

生徒たちは、米の品種の選別作業や2025年から本格始動している大型ラック式農業倉庫「米夢(まいむ)」の見学やアスパラガスの選果、トマトの出荷作業を体験しました。

担当したJ A阿蘇職員は「生徒たちは積極的に取り組んでいた。農業への理解を深めてもらういい機会になった」と話していました。

(写真=トマトをパック詰めする阿蘇中学校の生徒たち)

## 赤とんぼ米生産部会 グリーンコープ会員らと稲刈り交流会



グリーンコープ生協くまもとは9月6日、JA阿蘇管内で「2025年度産直交流活動レッツゴー田んぼin JA阿蘇」と題した稲刈り交流会を開きました。

交流会には県内各地から家族連れなど約50人が参加しました。JA阿蘇町赤とんぼ米生産部会員から、稲刈り鎌の使い方を教わった後、参加者らは1株1株丁寧に刈り取りました。同生協は、産地交流活動の一環として毎年JA阿蘇管内で稲刈りを実施しており、同生協と産地が協議に基づいた有機栽培・農薬不使用・減農薬で栽培された産直米である赤とんぼ米の周知に

寄与してきました。

参加した子供たちは「鎌の使い方が難しかった。お米づくりは大変だと思った」などと感想を話していました。

収穫後は特製カレーが振る舞われた他、生産者が自家栽培したスイカの重量当てクイズやバケツ稲コンテストが行われました。

JA阿蘇町赤とんぼ米生産部会は会員33人で、総面積約35haで2025年度は2500俵（1俵＝60kg）以上の出荷量を目指しています。（写真上＝みんな笑顔で稲刈り交流会）

## 「JA阿蘇きらり★」

★出身は熊本市です。趣味は馬術です。  
★10月より正職員となりました。これまで、アルバイトや臨時職員として皆様に温かく迎え入れて頂き、感謝しております。  
今後は、業務に責任を持って取り組んでいきますので、宜しくお願いたします！



梅田 陽輝

うめだ はるき

阿蘇南中央支所共済課共済係

業務に責任を持って  
取り組みます！

# JA阿蘇 イラスト違い探し「紅葉」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



## イラスト違い探し「紅葉」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で5名様に

「阿蘇コシヒカリ5kg」(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは令和7年11月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



## 前号「田植え」答えとプレゼント当選者4名様



江口 真帆 様 (熊本市)  
菅野 央将 様 (西原村)  
井 彩加 様 (産山村)  
大津 卓也 様 (南阿蘇村)

= 答え =

- ① 左の女の子の髪飾り
- ② おじさんの口
- ③ 中央の女の子の帯の長さ
- ④ 男の子がすくった金魚
- ⑤ 水槽の水草



ハガキ (表)

〒869-2612

JA阿蘇 総務部  
「JAあそだより」係

阿蘇市一の宮町官地387-5

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

## 理事会・監事会報告

### ■令和7年度第7回理事会

日時: 令和7年8月28日午後1時30分

場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項  
委員会報告(経済専門委員会)  
7月末実績について  
1) 貸出金について(案)

報告事項

- 1) 購買約定極度額基準変更について
- 2) カスタマーハラスメント基本方針および対応要領について
- 3) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング」報告について
- 4) 県域ローンセンター媒介業務実績について(令和7年6月)
- 5) 令和7年度 上期決算棚卸監査実施要領について
- 6) 令和7年度 上期決算棚卸休業について(金融・購買・営農)
- 7) 令和7年度 農機自動車大展示会実績について
- 8) 自主検査結果について(令和7年6月)
- 9) 波野購買店舗の廃止及び運営について
- 10) JA阿蘇活動総合3カ年計画進捗状況について  
(令和7年6月末)

4. 閉会

### ■令和7年度第8回理事会

日時: 令和7年9月26日午後1時30分

場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項  
委員会報告(金融・共済専門委員会)  
8月末実績について

- 1) リスク評価書およびリスク統括表について(案)
- 2) JAバンクローン等にかかる災害緊急特別対策利子補給実施要領(熊本県版)の適用について(案)
- 3) お客様本位の業務運営に関する取組方針一部見直しについて(案)
- 4) 熊本県常例検査回答書(第2回目 案)について

報告事項

- 1) マネロンに係る取組み状況について(令和7年3月末)
- 2) 令和7年度(第3四半期)余裕金運用方針について
- 3) JA阿蘇ATM機配置の基本方針について

- 4) 令和8年度以降のATM更新計画について
- 5) 令和7年度 米麦等棚卸監査報告書について
- 6) 2025年度 JA阿蘇総合展示会実施要領について
- 7) 令和7年産米概算金決定について
- 8) 令和8年度 職員募集要領について
- 9) 自主検査結果について(令和7年7月)

4. 閉会

### ●令和7年度第5回監事会

日時: 令和7年8月22日午後1時30分

場所: 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 令和6年度決算監事監査回答書について
- 2) 令和7年度米麦等棚卸監査報告書(案)について
- 3) 令和7年度上期決算棚卸監査要領(案)について
- 4) 令和7年度上期決算監事監査日程(案)について
- 5) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ② 令和7年度 第一回常勤理事との定例会議について
- ③ 令和7年度 監事研修会(Web)開催について
- ④ 行事予定について

4. 閉会

### ●令和7年度第6回監事会

日時: 令和7年9月17日午後1時

場所: 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 令和7年度上期決算棚卸監査実施手続きについて

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ② JA常勤監事研修会報告について
- ③ 第25期監査法人「監査計画概要説明書」について
- ④ 行事予定について

4. 閉会

## ●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ ●●●

### ●令和7年9月1日辞令

氏名	新辞令	旧辞令
川崎 和美	高森支所 JA阿蘇農機センター係	高森支所 JA阿蘇車輛センター係
山内 慶三	阿蘇町中央支所 JA阿蘇車輛センター係(高森駐在)	高森支所 JA阿蘇車輛センター係
鶴山 良	一の宮中央支所金融課金融係	阿蘇南中央支所金融課金融係
太田 奏多	一の宮中央支所金融課融資係	一の宮中央支所金融課金融係

### ●令和7年10月1日辞令

氏名	新辞令	旧辞令
山本 孝子	共済部保全課長代理	共済部保全課保全係

### ●令和7年10月1日新入職員内示

氏名	内示
梅田 陽輝	阿蘇南中央支所共済課共済係



# 廃食用油回収 リサイクルプロジェクト

私たちは、家庭から出る使用済み油をリサイクルしています。  
皆様のご協力をお願いします。

ご家庭で、天ぷらや唐揚げ、とんかつなどを揚げた使用済み油、  
そのまま捨てていませんか？

その油、私たちが回収します！

回収した天ぷら油は、環境にやさしい「バイオディーゼル  
燃料」として生まれ変わり、軽油や重油の代替エネルギー  
として、地域で活用されます。

環境保全に役立つため、是非ご協力ください。

油は捨てずに  
リサイクル！



**BDFとは**  
(バイオディーゼル燃料)

植物油を原料に精製、軽油の代替燃料です。  
使用してもCO<sub>2</sub>を増やさないので環境に  
やさしく、地球温暖化対策になります。

※各支所に設置している回収コンテナに入れて下さい！！

【お問い合わせ】JA阿蘇 営農部  
TEL:0967-22-6115



# JAバンクを装ったフィッシングメールにご注意ください！

## 偽メールに気をつけてください



- 1 JAバンクを装ったメールが届く  
誰かに「フィッシングメール」を送ってID/パスワードを聞き出してやろう
- 2 IDとパスワードを伺うメールが届く  
あら！やだ急いでIDとパスワードを返信しなきゃ!!
- 3 IDとパスワードを返信してしまい知らない人に情報を盗まれてしまう  
よしよし、IDとパスワードを盗んだぞJAバンクからお金を引き出してやろう
- 4 盗まれたIDとパスワードを悪用されてしまう  
あれれ!? お金がなくなってる!!! **ガーン**

## ポイント

### 操作を焦らされていませんか？

メールの件名や内容で慌てずに、まずは公式サイトからログインし、あわせて身に覚えのない取引がないか確認しましょう。

<メールの件名>  
※実際に確認されたもの

- ・【JAネットバンク】利用停止のお知らせ
- ・【JAネットバンク】緊急停止のご案内
- ・【JAネットバンク】お客さま情報等の確認について
- ・【農業協同組合】振込（出金）、ATMのご利用（出金）利用停止のお知らせ
- ・【緊急】JAネットバンク お取引を保留した（必ずご確認ください）

不特定多数の方へ複数回送られていることが確認されています。

## ポイント

### フィッシングメールなどに記載されているURLにはアクセスしない！

偽サイトにはID・口座番号・パスワード等は絶対に入力しないでください。

<要注意>  
特にワンタイムパスワードを漏洩すると、犯人側で送金が可能となり、**貯金残高の全額を不正送金されるリスクがあります。**

フィッシングメールの被害に遭われたと思ったら…  
緊急停止を実施してください。  
【JAネットバンク ヘルプデスク】  
0120-058-098

## 偽サイトに気をつけてください



- 1 JAバンクを装ったメールが届く  
誰かを「偽のサイト」にアクセスさせて個人情報を盗んでやろう
- 2 偽サイトにアクセスを促すメールが届く  
あら！JAバンクからのメールかしら？
- 3 偽サイトにアクセスし重要な情報を入力してしまう  
アンケートに答えるだけでいいなんてうれしいわ♪
- 4 知らない人に入力した情報が送られ、情報を悪用される  
ひっかったな盗んだ個人情報を悪用してやろう…  
ギャー!! 何で私の個人情報がいるんところに漏れてるの!?

JA SS × ブルボン

秋の

# 大感謝祭

抽選  
応募期間

2025年  
11月

7

30

11月7日(金)・8日(土)限定!!



ブルボンプチ (いずれか1つ)と  
ジュシー (1本)をプレゼント!

賞品は予告なく変更する場合がございます。また、無くなり次第終了とさせていただきます。

## 抽選会開催!!

期間中、3,000円以上の給油等で抽選にご参加いただけます!

特賞

### カード型旅行券 JTBTラベルギフト

14名様

# 50,000円分

有効期限:発行日より10年間



2等

14名様

### JAタウン ギフトカード



# 10,000円分

3等

28名様

### JAタウン ギフトカード



# 5,000円分

特別賞

500名様

### 熊本県産 こだわり 炒飯セット



応募条件:給油等3,000円分のレシートのアップロードが参加条件となります。